

氏名	津 田 敏 秀		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博甲第 766 号		
学位授与の日付	平成元年 3月31日		
学位授与の要件	医学研究科内科系脳代謝医学（病態神経化学）専攻 （学位規則第5条第1項該当）		
学位論文題目	土呂久における慢性ヒ素中毒認定患者の悪性新生物についての疫学的研究		
論文審査委員	教授 緒方正名	教授 赤木忠厚	教授 栗井通泰

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

宮崎県高千穂町土呂久地区において、廃鉱となったヒ素鉱山周辺の慢性ヒ素中毒認定患者の死亡調査をおこない、ヒ素による発癌の評価を行った。日本の1975年、'80年、'85年、の性、年齢、死因別死亡数に基づいて期待死亡数を求めた結果、呼吸器の悪性新生物、膀胱・腎並びにその他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物、虚血性心疾患において、期待死亡数に対して統計学的に有意な過剰死亡を認めた。就業歴の有無別に期待値を求めると、呼吸器の悪性新生物と泌尿器の悪性新生物が、元就業者群において有意な過剰死亡を示し、非就業者群では虚血性心疾患が増加していた。就業歴及び喫煙歴に従って4群にコーホートを分割すると、喫煙歴のある元就業者群においてのみ、有意な過剰死亡が観察された。これはヒ素と喫煙の協力作用を示唆している。17例の悪性新生物死亡症例中、11例がボーエン病を含む他の臓器の悪性新生物死亡を合併していた。今後土呂久において癌を中心とした経過観察が望まれる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

宮崎県の土呂久地区において、廃鉱となったヒ素鉱山周辺の慢性ヒ素中毒認定患者の死亡調査を行い、日本の期待死亡数を対象としてヒ素による発癌の評価を行い、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。